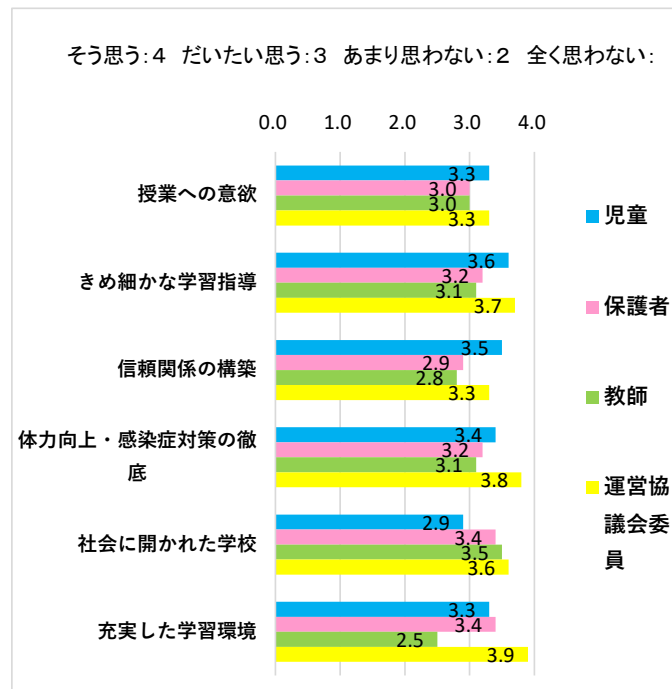


令和5年度（前期）学校評価結果

球磨村立一勝地小学校

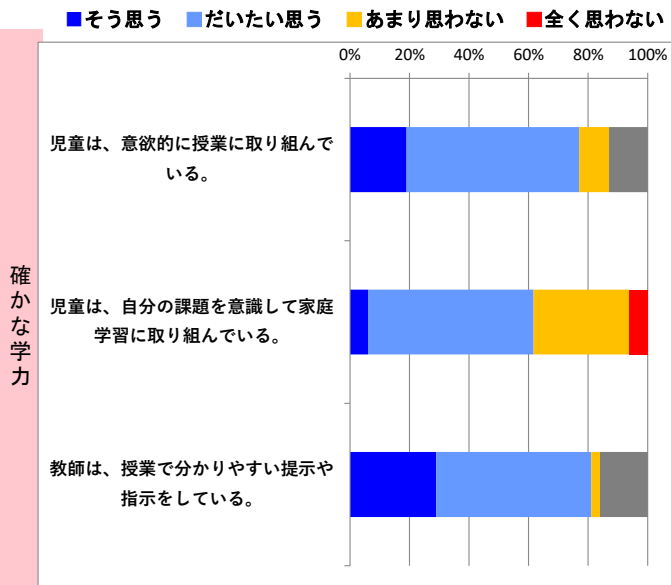
1 児童・保護者・教師の共通項目比較



【分析】

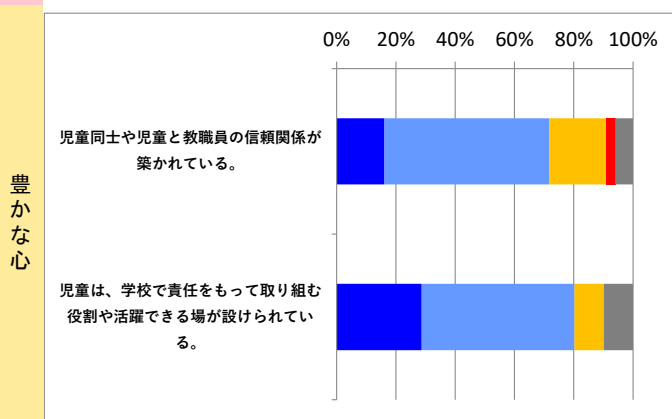
- どの項目も学校運営協議会委員からは比較的良い評価を得ている。
- 信頼関係の構築については、全体的に課題意識が高く見られる。
- 地域と連携した活動が徐々に増え、社会に開かれた学校づくりを進めることができつつある。

2 保護者の評価



【□分析／■対応】

- 授業に関しては比較的肯定的評価（「そう思う」「だいたい思う」）が多い。
- 「家庭学習」で「あまり思わない」「まったく思わない」の回答が多い。
- 自己の課題を認識し、その課題克服に向けた家庭学習の計画を立て、実行できるように指導を行う。
- 児童がさらに主体的に学習に取り組めるよう、分かりやすい指示などをし、授業改善を図る。

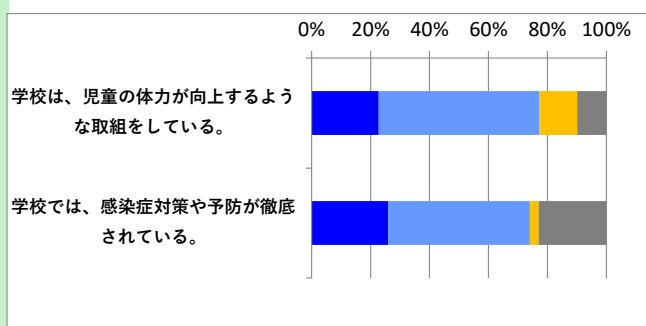


【□分析／■対応】

- 「信頼関係の構築」に課題があるとの回答がある。
- 「信頼関係の構築」に関しては、特別活動を中心とした学級づくり、人権教育の充実など、学校生活全体で取り組む。

確かな学力

豊かな心

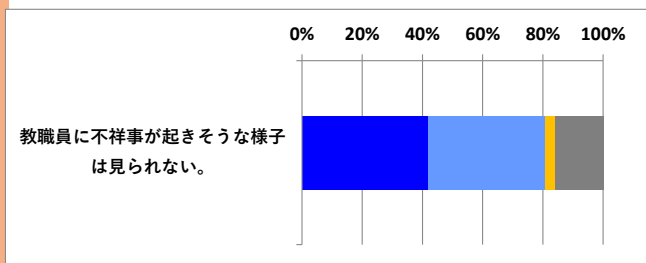


【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な回答が多い。

□感染症対策について「分からない」の回答が多い。

■児童が健康な生活を送るための学校での取組を周知するとともに、家庭と連携して取り組む。

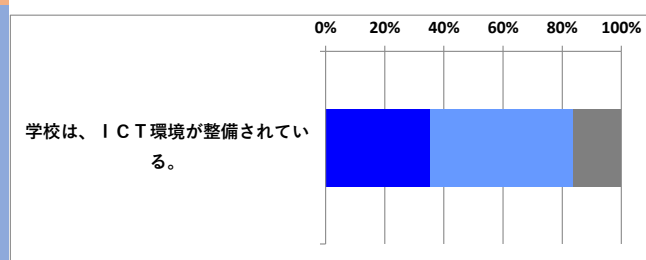


【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な回答を得ている。

■学校だより、学級通信、学校ホームページ等様々な手段で情報を発信していく。

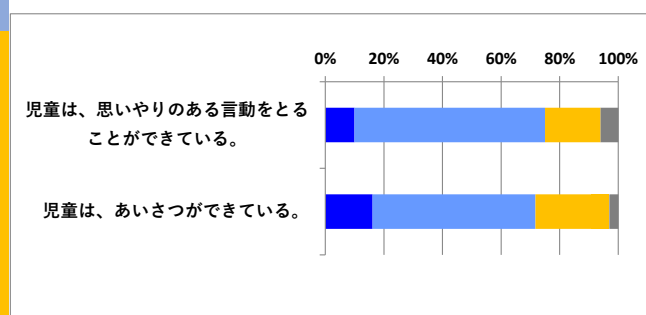
■教職員として信頼される言動を心掛け、意識を高めて改善を図っていく。



【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な回答を得ている。

■授業だけでなく、家庭への端末持ち帰りを進め、さらなるICTの活用促進に努める。



【□分析／■対応】

□「あまり思わない」という回答がある。

■学校の教育活動とともに、親子読書等の活動を通して家庭との連携を図り、「思いやりの心」の醸成を図っていく。

4 要望等と対応

・一勝地小もあと半年なので、思い出がたくさん残る日々であってほしいと思っています。

→閉校までの日々が充実した記憶に残るものになるよう、学校全体で取組を進めていく。

・授業参観が年3回しかないので学校での様子が分かりにくい。「わからない」の欄に回答せざるを得なかった。

→各行事、学級通信、学校だより、学校ホームページ等の充実を図り、学校からの情報発信を充実させていく。

・挨拶は10数年前から比べるとしなくなったと思う。挨拶をしない先生もおられるので仕方ないと感じています。

→まずは教師が気持ちの良い挨拶を心掛け、率先垂範で子供たちと共に挨拶のあふれる一勝地小学校になるよう取り組んでいく。